

シートの水貼り方法

■水貼りに使う道具と使い方

霧吹き

水を入れた霧吹きに、中性洗剤を2、3滴入れます。
洗剤を入れることでシートが滑りやすくなり、シートを置いて位置合わせをする時に動かしやすくなったり、圧着する時に水がきれいに抜けるようになったりするメリットがあります。



スキージー（ゴム製）

シートを接着する際に、シートと貼る面の間に入った空気を押し出すために使用します。ゴム製のものがシートに傷をつけにくいいため、適しています。



■手順 ※複数人で作業されることを強くお勧めします。

- ① 貼り付ける面の油分やほこりなどをふき取ります。
※貼る面に凹凸があったり、既存のシートに劣化が見られたりする場合は、きれいに貼れません。
- ② 粘着面同士が貼りつかないように注意しながら、裏紙をゆっくりとはがします。
- ③ 粘着面にたっぷり（水がしたたり落ちるくらい）水を吹きつけます。
※シートのサイズが大きい場合は、台紙をはがしながら水を吹きつけます。
- ④ シートを貼る面にも③同様にたっぷりと水を吹きつけ、スキージーで中央から上下左右へと水と空気を押し出します。水と空気を抜き、乾燥したら完成です。



Q 裏紙をはがして、そのまま貼ってはダメ？
水を使うと、作業が大変そう…。

A 水を使うことによって、シートの粘着面同士がくっついてはがすことができたり、ペタッといきなり貼りつかずに位置の調整ができたり、シートと貼る面の間に入った水と空気を押し出すことができたりと、作業がしやすく、きれいに貼ることができます。

水を使用せずに貼ることも可能ですが、大変難しいため、水をお使いいただくことをお勧めします。弊社ホームページにて、動画での紹介もしておりますので、参考にご覧ください。

<http://meiku-koukoku.com/001.html>

※ページの下部にあります。

